

# 2022年度あかしSDGsパートナーズ実績報告書

様式 3

No. 113 にじいろアート教室

記入日 2023年(令和5年)4月1日

1. 2030年までに達成したいこと	①住み慣れた地域や場所で、健やかな生活を送るためのアート活動に参加する機会と地域交流をおこなう場を提供する。 ②アート活動を通して、想像力を豊かにし、子どもから高齢者までが生涯にわたり心身共に生き生きと暮らせるような社会作りを目指す。	3. 関連するゴール									
	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 取組の概要	①楽しくワクワクするような作品制作ができるようにする。 ②発表の場を設け、明石市から文化芸術の素晴らしさを発信する。 ③子どもたちが持続可能な生活を築けるように、芸術の力を借りて、質の高い教育を行う。	3. 関連するゴール									
	<input type="checkbox"/>		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

## 4. 主な取組の達成状況

		①目標値		②当初値		③実績値		達成度
(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>誰もが気軽に参加できるような場所作り</li> <li>ワークショップなどのイベント開催</li> <li>スケッチ遠足や美術館鑑賞会などのイベント開催</li> <li>外部講師や学生ボランティアの活用</li> </ul>	イベント参加人数	200 人	120 人	136 人		人	20%
			2026年度	2021年度	2022年度		2023年度	
			2026年度	2021年度	2022年度		2023年度	
(2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワクワクするような創作活動の機会の設定</li> <li>市民の作品の展示や発信</li> </ul>	作品制作やその展示	3 回	2 回	2 回		回	0%
			2026年度	2021年度	2022年度		2023年度	
			2026年度	2021年度	2022年度		2023年度	
(3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの芸術教育イベント開催</li> <li>専門家による教育普及活動</li> </ul>	専門家のアートイベント開催	4 回	3 回	3 回		回	0%
			2026年度	2021年度	2022年度		2023年度	
			2026年度	2021年度	2022年度		2023年度	

5. 取組結果	2022年度はコロナ禍にあったため、イベント開催が難しく目標を達成することが困難だった。一方、取組が口コミで少しずつ広がり、イベントなどの参加人数が増えてきた。大人は描いた作品で絵で、便箋などの文具を作ったことを喜んでくれた。また、活動に共感し応援してくれた学校があり、不要になった絵具や道具を寄付していただいたことは非常に大きいと感じている。	問合せ先	団体名：にじいろアート教室 担当課：生活向上委員会 電話：09083825786 メール：hukatika@yahoo.co.jp 担当者：深千香
---------	--	------	---

6. 今後の課題と取組	昨年度は子どもの教育普及イベントは人気が出て参加者が増えた。コロナ禍が収まれば、今後は多くの人たちが参加できるイベントを開催したい。しかし、コロナの影響で元気な高齢者が少なくなり、こちらから訪問したり電話で様子を確認したりする機会が増えた。双方を両立するためには人員と費用が必要である。今後の課題としたい。	連携希望	様々な業種の方々や企業様と連携を希望します。
-------------	---	------	------------------------